

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 さやま環境市民ネットワーク

20A-56

代表者：代表理事 石田 嵩

URL : <http://www.sayama-kankyo.org/>

1. 活動が必要とされた状況

環境問題が深刻さと複雑さを増す状況のもと、「私たち市民一人一人が、環境に学び、環境を体験し、環境問題の改善に向けて行動する“環境市民”となり、環境にやさしいまち・暮らしの実現のため、主体的かつ積極的に行動していくこと」が求められています。

市民に見える形で、温暖化防止を実感していただく試みとして「マイタウンソーラー発電所」の建設を推進し、実体験に基づく地球温暖化対策の参加型学習に取り組んでいく必要があります。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

マイタウンソーラー発電所は、平成 22 年度に 1 号機、平成 24 年度に 2 号機を建設しました。今年度はサイサン環境基金の助成金、埼玉県補助金、地域の方々のご支援により、3 号機の建設が完工し、昨年 12 月 16 日に参加人数約 120 名で点灯式を盛大に開催し発電開始に至りました。1 月には公民館で出前環境講座「やさしい環境を子や孫に残そう」を参加者多数で実施しました。そのほか地元自治会の狭山市や商店街などのお祭りには環境パネル展示やソーラーシャボン玉製造機やソーラーミニカー、ソーラークッカーなどの展示をして市民の皆様に自然のパワーと温暖化対策の気づきを感じて親しんでいただいています。



2018 年 12 月 16 日 3 号機発電所点灯式

3. (財)サイサン環境保全基金助成金の成果

助成金により、地球温暖化防止活動の啓蒙ポスター・チラシを配布して活動推進を図りました。また、記念事業の一環として絵本タイプの環境教育用冊子「はじめて えこ」を製作し、今後の教育活動に内外に向け積極的に活用していきます。



4. 今後に残された課題

今後の地球温暖化防止活動には、幅広い年齢層を対象に継続的な啓蒙活動が必要です。

そのためには、人・物・資金を安定化していく必要があります。これからも行政や外部チームとの連携を図り、内容の濃い教育資料の工夫や活動の継続体系を維持していくことが必要と思います。